

フォーラム・アール ～これからを話そう vol.1
太田光海
「氾濫する映像の中に、自分だけの水脈を見つける
—感覚民族誌の視点から—」

2022年11月3日(木・祝)



「少し先の未来」との向き合い方を考える学びの場『フォーラム・アール』～これからを話そう』が始まります。vol.1では映像作家で文化人類学者の太田光海を迎え、感覚民族誌の視座から“映像”を捉え直し、また“映像”を通して、自らの世界を紡ぎ直すことを目指しながら、映像を上映・展示する場でもある美術館の役割とそこから生まれる関係を考えます。

イベント名	フォーラム・アール ～これからを話そう vol.1 太田光海「氾濫する映像の中に、自分だけの水脈を見つける —感覚民族誌の視点から—」
日時	2022年11月3日(木・祝) 15:00～16:30(開場14:45)
会場	金沢21世紀美術館 シアター21
定員	120名(要事前申し込み・先着順)
参加費	無料
聞き手	高木遊(金沢21世紀美術館アシスタント・キュレーター)
申込方法	当館ウェブサイト申込みフォームにて受付中
主催	金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団]
お問合せ	金沢21世紀美術館 交流課 TEL 076-220-2811 (火～日曜日、祝日10:00～18:00)



申込みフォーム

本資料に関するお問合せ 金沢21世紀美術館 広報担当:石川聡子・齊藤千絵・落合博晃(広報課)
事業担当:木村健(交流課)、高木遊(学芸課)
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<https://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp



概要

太田光海は、映像やテキストを駆使して主に感覚民族誌を实践する人類学者です。耳慣れない感覚民族誌とは、「他者、そして自らがこの世界において、どこに位置するかを感覚を通して考え、個人的あるいは社会的側面から様々な関係を再考し、つないでいくこと」と太田は言います。本レクチャーは、グローバルパンデミックの影響で数多くの映像があふれる現代において、感覚民族誌の視座から“映像”を捉え直し、また“映像”を通して、自らの世界を紡ぎ直すことを目指します。そして、映像を上映/展示する場でもある美術館の役割とそこから生まれる関係を考えてゆきます。

講師プロフィール

太田光海(おおた あきみ)

1989年東京都生まれ。映像作家・文化人類学者。マンチェスター大学グラナダ映像人類学センターにて博士号を取得。文化人類学とドキュメンタリー映画を掛け合わせた先端手法を学び、アマゾン熱帯雨林での1年間の調査と滞在撮影を経て、初監督作品となる『カナルタ 螺旋状の夢』を発表。本作にて令和4年度文化庁文化記録映画優秀賞受賞。2021年には写真と映像インスタレーションを用いた個展「Wakan / Soul Is Film」(The 5th Floor、2021年)、芸術祭「ATAMI ART GRANT」に参加(熱海、2021年)し、映画にとどまらない領域で表現活動を行う。



photo: Jun Yokoyama

太田光海
短編映像作品上映会

太田光海による短編映像作品の上映会を、トークの前に行います。本作品は『カナルタ 螺旋状の夢』(太田光海監督)の番外編とも言えます。映画撮影と同時並行に太田光海が撮りためた本編未使用の映像素材を新たに解釈し、映画には収まり切らないアマゾン熱帯雨林の様々な顔を立ち上がらせます。

上映作品：「Wakan / Soul Is Film」(2021年 22分間)

時間：10:00～14:00

定員：120名(申し込み不要)

料金：無料

会場：シアター 21



フォーラム・アール とは

フォーラム・アールでは様々な分野の専門家をお迎えし、世界にある「今」への新しい視点や考え方を学びます。各回で美術館の専門スタッフが聞き手となり、皆さんとともに「少し先の未来」との向き合い方を考える、伸びやかな学びと語らいの場を目指します。科学技術の進歩が社会を変化させ続ける中、また地球環境や社会システムの更新などに対応すべく、私たちはあらゆる分野で協調して対応しなければなりません。各回のトークを通じて、変化を理解し、仕組みや態度を調整／更新していく学びの機会とします。

今後の予定

vol.2 高橋そよ (琉球大学人文社会学部 琉球アジア文化学科 准教授) 生き物をめぐる—琉球狐の生物文化多様性の視点から

日時：2022年12月10日(土) 14:00~16:00 (開場13:45)

会場：レクチャーホール

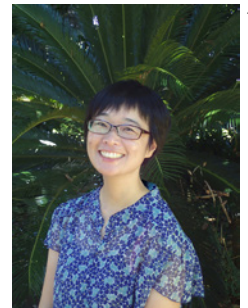
定員：80名 (申込先着順、

11月10日(木) 10:00より申込みフォームにて受付開始)

参加費：無料

聞き手：野中祐美子

(金沢21世紀美術館アシスタント・キュレーター)



4

vol.3 藤原辰史 (京都大学人文科学研究所 准教) これからの「食」とアート

日時：2023年1月21日(土) 14:00~16:00 (開場13:45)

会場：レクチャーホール

定員：70名 (申込先着順、

12月21日(水) 10:00より申込みフォームにて受付開始)

参加費：無料

聞き手：黒沢聖覇 (金沢21世紀美術館アシスタント・キュレーター)



5

vol.4 吉村正志 (沖縄科学技術大学院大学(OIST)「OKEON美ら森プロジェクト」コーディネーター) 地域社会と見つめる—『生物多様性』沖縄の陸域環境調査から—

日時：2023年2月11日(土・祝) 14:00~16:00 (開場13:45)

会場：レクチャーホール

定員：70名 (申込先着順、

1月11日(水) 10:00より申込みフォームにて受付開始)

参加費：無料

聞き手：木村健 (金沢21世紀美術館エデュケーター)



6

vol.5 フランソワーズ・モレシャン

(金沢21世紀美術館国外アドバイザー)

時代は変わる、ファッションも

日時：2023年3月4日(土) 14:00～16:00(開場13:30)

会場：シアター 21

定員：120名(申込先着順、

2月4日(土) 10:00より申込みフォームにて受付開始)

参加費：無料



関連情報

太田光海監督作品上映情報

『カナルタ 螺旋状の夢』

上映期間：11月5日(土)～11日(金)

主催・会場：シネモンド(金沢市香林坊2-1-1 香林坊東急スクエア4F / Tel.076-220-5007)

本トークイベント関連企画として、11月5日(土)～11日(金)の期間中、『カナルタ 螺旋状の夢』をシネモンド(香林坊東急スクエア4F)にて上映します。

同作品は、エクアドル共和国のアマゾン熱帯雨林で自給自足生活を営む先住民、シュアール族の世界を捉えたドキュメンタリー映画です。構想から7年、現地で1年以上の単身住み込み撮影を行った太田が国際的なクリエイティブ・チームとともに完成させた至極の初監督作品。セバステアーンとパストーラ夫妻を家族の一員のような視点で追ひ、森や薬草と結ぶ深い関係や、現代医療の導入に起因する社会の変化が起こす様々な矛盾にも迫ります。令和4年度文化庁文化記録映画優秀賞受賞作品。

※詳細はシネモンドWEBページ(<https://cine-monde.jimdofree.com/>)でご確認ください。



広報用画像

画像1～8を広報用にご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、広報課へお申し込みください。

画像お申し込みフォーム ▶ https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

[使用条件]

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報課へお送りください。

※アーカイブのため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。